

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



非常食訓練



今年も防災の日に併せて、9月1日の昼食は、災害が発生してライフラインが停止した想定で、非常食を提供する訓練が行われました。日頃の給食とは違い、看護スタッフが停電下で倉庫から非常食の準備をしました。非常時を想定しているため、当然エレベーターや配膳車を使うことなく、防災袋などを使用し倉庫から非常食や水を病棟まで運びました。また、盛付けも看護スタッフが、非常食のおじやを使い捨て食器に袋から出して行いました。

訓練の後はスタッフより今後に向けて様々な意見を頂き、今後の訓練の参考となりました。また、患者さんスタッフともどもが、非常時の意識を高める良い機会となりました。



今年も大きな台風に見舞われました。
備えあれば憂いなし！
非常食の「牛すき焼き」です。

臨床栄養学実習



令和4年7月に安田女子大学 家政学部 管理栄養学科（4年生1名）の臨床栄養学臨地実習（2週間）を当院で行いました。

実習内容は栄養課（事務所、厨房）業務、デイケア見学、昼食時の病棟訪問、病棟や外来のカンファレンス見学、委員会見学、外来栄養食事指導の見学等を行いました。当院は直営給食のため、給食管理と栄養管理の両方をバランスよく行い、患者さんに食事提供をしていることや精神科病院は長期入院の方が多いため、人気のあるカレー等のメニューは定期的に献立に入れていることを学んでもらいました。

また、新型コロナウイルス対策として実習前のPCR検査や院内ではマスクにフェイスシールドを着用することの徹底等を行いました。

毎年、この時期に山口県精神科病院協会の研修会が開催されております。今年はコロナ感染対策として、WEB 配信による形となりました。

当院の会場では院長、事務部長、看護部長、看護副部長に加え、作業療法士、事務員なども参加しました。配信スタイルも今年で 2 回目ですので、Web 配信の準備や進行はスムーズに行えたと思います。今年の演題は全部で 5 題に加え、埼玉県にある山口病院の先生による特別講演が行われました。題は「栄養を重視した精神科治療」で鉄欠乏性貧血が引き起こすうつ状態に対してミネラルやビタミンを適切に補充することによる精神安定などのお話がありました。栄養面から身体状態だけでなく、精神状態を考える視点が新鮮でした。全体としても他院の事例を学ぶことはあまりないため、今年も地域の精神科医療の向上に寄与できた研修会となりました。

一日ナース体験

看護協会主催の 1 日ナース体験を、新型コロナウイルス対策をしっかりと行ったうえで、8 月 1 日と 8 日に開催いたしました。「精神科看護の魅力」の講義、車いす移乗・心肺蘇生などの実践練習などを行いました。防府市内外から 6 名の参加者があり、「様々なナース体験を通して、看護師になる気持ちが強くなりました」「看護師の皆さんに元気をもらったので、自分も周りの人に元気を届けられる看護師になりたいと思いました」等の感想を頂きました。



人形を使い心肺蘇生の手
技を学びました

編集後記

今年の夏の甲子園、燃えました！山口県代表の「下関国際」は決勝まで勝ち進み、決勝戦は患者さんと一緒にテレビを見ていました。もちろん、仕事の合間に。優勝は逃しましたが、試合終了後に自然に拍手が沸き上がり「頑張ったね」などの声が聞こえていました。同じ思いを皆で共有できた体験だったと感じました。

作業療法実習



7 月 19 日～9 月 13 日までの 40 日間、YIC リハビリテーション大学校作業療法学科 4 年生の実習を受入れました。初めての精神障害領域での実習ということもあり、初日は緊張した様子ですが、患者さんに温かく迎え入れて頂き、徐々にリラックスして実習を進めることができました。コロナ禍での実習受入れでは、様々な苦労はありましたが、今回の実習で実際の患者さんを通して、作業療法評価から治療までを経験し、作業療法の臨床思考を学ぶことができたのではないかと思います。当院の職員も指導を通して患者さんへの関わり方を見直す機会となり、よい経験をさせて頂きました。今後も勉学に励み、作業療法士として活躍することを願っています。



患者さんと一緒にゲートボール活動を行いました。